

今こそ求められる言行一致の誠の心

「誠」の音読みは「セイ」＝清、訓読みは「マコト」→「真言」と置き換えられます。また「誠」を字割すると「言」「成」に分けられます。したがって、これらを総合して読み解くと、「誠とは言葉を成り立たせること、すなわち言行一致のことであり、それは嘘のない清い真の心である」と読めるようです。

人々が「誠」一筋の誠心誠意の生き方に目覚める時、そこには人為的な対立と混乱が一切解消する世界が展開されてくる筈です。

太古の人達の言葉には大きな力があつた

かつて遠い遠い昔、1万数千年間続いた縄文の昔は、人と神が仲むつましく暮らしていた靈性豊かな時代であつたと想定されます。その頃は言霊の栄えていた時代であつたと想像できます。古来、日本の国は靈(ひ)之本の国と言われ、言霊の幸はう国と言われていました。

我が国最古の歴史書に古事記や日本書紀がありますが、その4倍の文字数を持ち古事記の原本になつたと言われる古文書の一つに神代文字(オシテ)で五七調で書かれていた秀真伝(ホツマツタエ)があります。そのホツマ伝えの初めには若姫(和歌姫)のことが書かれており、和歌の尊さ大切さが記述されています。別の章では「天之数え歌」という祝詞(のりと)を唱えると「死者も甦える」と書かれています。

また日本最古の神社の一つに奈良県の石上神宮がありますが、そこに伝わる十種祓詞(とくさのはらへのことば)の中にも「蒼生(あをひとぐさ＝人民)の病疾のことあらば、この十種の瑞寶をもちて一二三四五六七八九十と唱えつつ布瑠部 由良由良と唱えれば、まかりひと(死人)も生き返らむ……と記されています。

このように太古の昔の人の発する言葉には現代人が及びもつかない大きな力があつたことが想像されます。

エゴの心の増大にともない言霊の力は失われる

今日とは異なり純朴で誠の心を保持していた私たちの先祖は、この言霊の力を信じ自然や宇宙と調和して靈性豊かに生きていたのです。しかし、その後、大陸から多くの移住民が押し寄せ弥生時代になると、人々は弱肉強食の渡来人の考え方に毒されてゆき、次第に人々の使う言葉は乱れて言霊の力は失せてゆきました。人々の心は我善のエゴの心と欲に毒されていったと考えられます。

さらにさらに下って、明治維新そして大東亜戦争敗戦後のGHQの占領政策等により、本来の和の精神は一段と崩れてゆき、現代では「至誠」という言葉が死語になっているのではないのでしょうか？ 私たちの先人が使っていた「至誠天に通じる」、この素晴らしいコトバが使われなくなって久しいと言えましょう。

本当の「罪」は？

罪

四

=シ=詞

詞=光透波

非

あらず

本当の罪は、光透波でないことです

光透波＝宇宙創成の波動ですから当然ですね。

「誠」はどのように解されるか

セイ
清

誠

マコト
真言

言

成

誠とは言葉を成り立たせることであり、
清らかな真言の意味です。
言葉と行いが一致する
有言実行の生き方を現わしています。

特に近年、言葉の乱れは激しく嘘と誇張と偽りの言葉が氾濫し、人々はパワーを失った抜け殻のような言葉を乱用しています。そして振り込め詐欺に象徴されるように、また真実を歪める政治家や官僚の言動、謀略的なマスメディアから流される情報操作により、現代社会は増々混乱の度を深めているようです。すみやかに言葉の乱れ、日本語本来の和の心に戻ることが求められているのではないのでしょうか。

宇宙の導き感応作用で「ことば・文字」は生まれる

過去、本誌で繰り返し記してきたように、コトバとか文字という

ものは人間が作ったものではなく、もっと言えば宇宙からの導き、感応作用により人間に降ろされたものとの見方をとっています。その初めに降ろされた言葉が光透波(コトハ)ではないかと推理されるのです。

「言葉や文字の神性」に関しては本誌でいろいろな字割例を通して今まで繰り返し解説してきましたので、読者の皆さんはコトバの重要性、尊さについて納得されている人も数多いと思いますが、初めて本誌に接する人たちは

戸惑われると思いますので以下、光透波の字割例を記し言葉の深さ重さ尊さを紹介させていただくことにいたします。

「罪」の字が教える本当の罪とは？

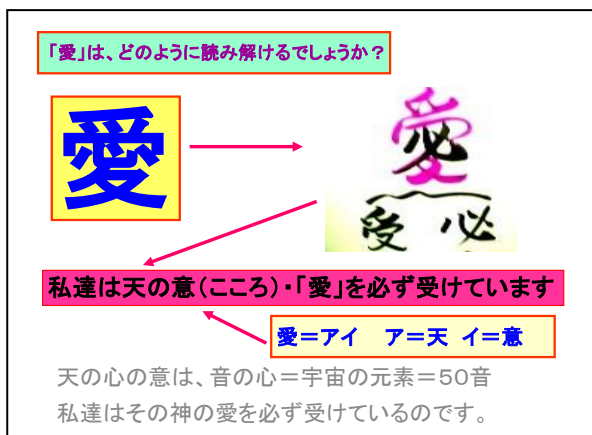
前ページにの図解を見れば納得されると思いますが、罪」という字は「四」と「非」に分けられます。「四」→「シ」→「始」→「詞」。命波学＝光透波理論では、「詞」＝「光透波」と捉えていますので、「罪」の根源的な意味は「光透波でないこと」。すなわち神から初めに降ろされたコトバ＝光透波から外れていることが、人類の根本的な罪になっているということです。

このことを聖書では「エバがヘビ(悪神)に唆されてリンゴ(智慧の実)を食べた…」の譬え話として伝え、知恵を手にした原初の人間が次第に初め言葉(コトバ)から外れてエゴの言葉へと変えていったことを「原罪」として、比喩的に表現しているのではないのでしょうか？

面白いことに「警」の「字」は右上の図解のように、このことを表現している文字だということです。「警」は「敬」と「言」に分けられますので、素直にその字の意味を取りますと、「天は言葉を敬いなさいと警告されている」と、読み解けてくるからです。

文字が教える本当の「愛」の意味とは？

続いて「罪」を犯した者も含めあらゆる悪も許す心である「愛」の字はどのように読み解けるのでしょうか？愛にも色々ありますね、純粋な愛もあればドロドロした愛もありますが、本当の愛とはどのような意味であるか紐解いてみましょう。



昔、筆書きでは「愛」の字は下図のように「受」と「必」の二文字で構成されていました。したがって「愛は必ず受けています」と読むことができます。「愛」の読みは「ア」「イ」、「ア」→「天」、「イ」→「意」に解すると、「愛とは天の意(こころ)」、さらに「意」は「音」と「心」に分けられます。「音」→「OTO」=50音=光透波。これらを纏めて「愛」の字の真意を読み解くと「天の心である『愛』は、音の心=宇宙の元素音=光透波50音を、私たちはその天の心である愛を必ず受けている」ことが分かります。

實(まこと)の字が教える宇宙の真実

それでは、その天、すなわち宇宙の実(まこと)はどのように解せるのでしょうか？「実」は旧字で「實」。字割すると以下ようになります。

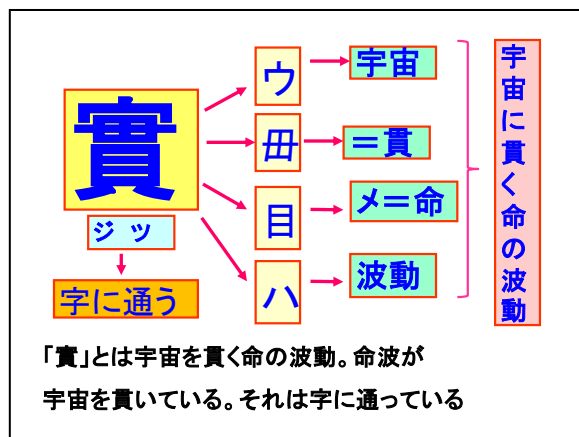
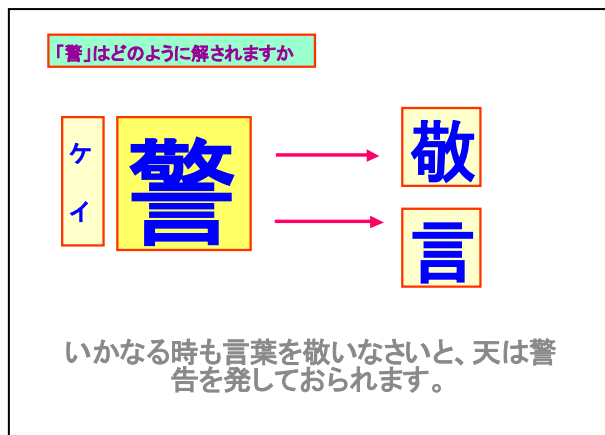
「實」の字は「ウ」「貫」の二つに分けられます。→「實(まこと)は宇宙を貫いている」。さらに「實」は「ウ」「毋」「目」「ハ」のパーツに分けられますので、「實は宇宙を貫く命の波動」という意味にもとれてきます。したがって、『實(まこと)とは宇宙を貫いており、それは命の波動である』と理解できてきます。

全ての学びの素は字から始まります

そして、私たち人間が常に心掛けねばならないもの一つに「学」があります。学ぶことによって私たちは進化の道をつかむことが

出来るからです。その「学」の字の真意はどのように解されるのでしょうか？「学」の字は次頁右上の図のように「ソ」と「字」に分けられます。「ソ」は天鏡図で「素」の文字が出てきます。ですから「学とは『字』を学ぶことが素(もと)ですよ」と読み解けるのです。

まさに、「すべての学問の素は光透波の字割にある」と光透波学徒の間では受け取られているのです。



註一 天鏡図とは宇宙の一切を生成させている元素音・50音の一言一音の音霊の深い意味を読み解いた一覧表のこと。光透波を啓かれた小田野早秧先生が心血を注いで解明された天を映す鏡の図であり、この天鏡図があればこそ言葉や文字の奥の真意を解説することが可能になっています。

「素」の字が明かす宇宙の真理とは

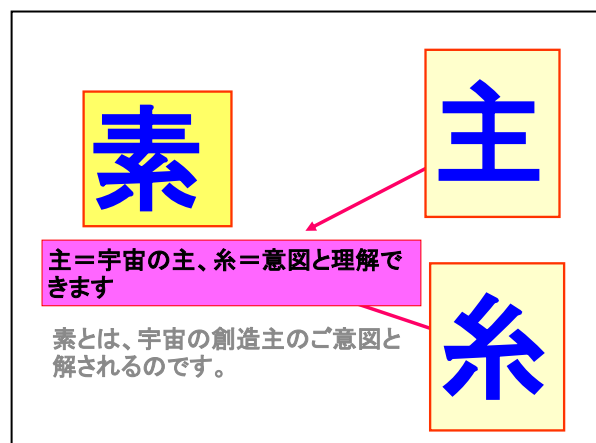
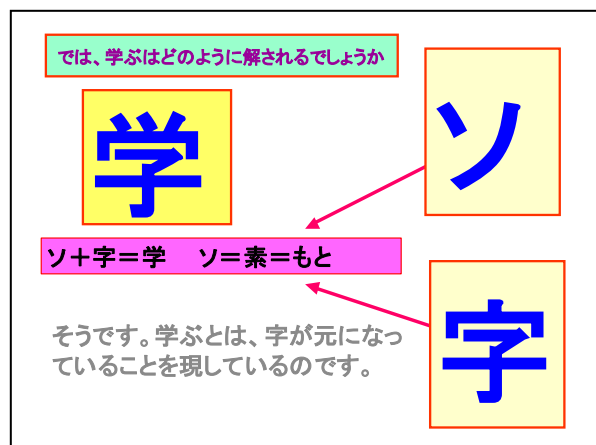
それでは「素」はどのように読めるでしょうか？「素」は「主」と「糸」に分けられます。「主」は文字通り「創造主」を指しており、「糸」＝「イト」＝「意図」と解すると、「素(もと)」は創造主の意図である」と読み解けるのです。この「素」の一文字から、この宇宙一切万有、森羅万象のすべては創造主のご意図によって生成流転していると理解することが出来るのです。

このように文字を次々と解説してゆきますと、いずれの文字からも珠玉のような深意・真理が浮かび上がってくるのです。このことは、相当のひねくれ者は別にして誰もが納得できることではないでしょうか？

宇宙の意識体＝神は微に入り細にわって文字によって人類を宇宙の意図に導くようになされていたと思いませんか？人類覚醒の究極の哲理が言葉の奥に脈打っていたということです。

宇宙の深意を読み解き、迷妄をクリアすることが出来る光透波の字割は日本の言葉文化の中から生まれ、今日の言葉の乱れを正し、世の混乱を救う哲理ともいえるのである。宇宙の深遠さを探求し、迷妄を晴らすことが出来る文字の言霊学＝光透波をご一緒に学んでみませんか？

文責 宿谷



9 月 光透波セミナーのご案内

●光の言波・真理教室 (第170回 光透波セミナー)

- 日 時 9月25日(木) PM 1:30～PM4:45
- 場 所 神明いきいきプラザ 集会室 B(4F) 東京都港区浜松町1-6-7
- 演 題 「宇宙からのメッセージと光透波」 J R 浜松町(北口) 地下鉄大門(B1) 各4分
- 講 師 宿 谷 直 晃 ●参加費 3,000円
(事前に参加費支払者は 2,000円)

※ 講座の申し込み先 090-2447-2037 (宿谷まで)

●名古屋 命波学講座

- 日 時 9月 4日(木) PM 1:00～PM 4:00 基礎講座 第20回
- 日 時 9月 8日(月) PM 1:00～PM 4:00 基礎講座 第21回
- 日 時 9月24日(水) PM 1:00～PM 4:00 基礎講座 第17回
- 日 時 9月27日(土) PM 1:00～PM 4:00 基礎講座 第4回

●日 時 9月30日(火) PM 2:00~PM 5:00 基礎講座 第20回
●場 所 實光透波スペース 名古屋市名東区香南1-103-8-201
●講 師 堀 尾 君 子 ●参加費 各3,000円

※ 命波学受講の日時調整可。お申し込み、問い合わせは堀尾へ 090-8499-5989

●名古屋光透波塾

●熱田神宮参拝と光透波お話し会

●日 時 9月28日(日) AM 10:00~PM 0:00
●場 所 熱田神宮 (集合は神宮会館前) ●演 題 「自己と神の関係」
●講 師 磯 部 賢 一 ●参加費 3,000円

●Zoom 入門講座

●日 時 9月10日(水) AM 10:00~PM 0:00
●参加費 3,000円 ●演 題 「光透波の全体像」
●講 師 磯 部 賢 一 ●参加費 3,000円

●Zoom 中級字割実践講座

●日 時 9月16日(火) AM 8:00~AM10:00 「数とアルファベット変換」
●日 時 9月24日(水) AM 8:00~AM10:00 「数と幾何構造でできている」
●日 時 9月30日(火) AM 8:00~AM10:00 「弥勒の仕組み」
●講 師 磯 部 賢 一 ●参加費 各講座 3,000円

●Zoom 講座

●日 時 9月 3日(水) AM 10:00~PM 0:00 「般若心経と光透波」
●日 時 9月20日(水) AM 10:00~PM 0:00 「日月神示と光透波」
●日 時 9月24日(水) AM 10:00~PM 0:00 「瞑想と光透波」
●講 師 磯 部 賢 一 ●参加費 各講座 3,000円

※ 以上 お申込み、お問い合わせは磯部賢一へ isoiso837@gmail.com 090-9199-0248

●第15回 三ノ宮言霊セミナー

●日 時 9月 7日(日) PM 6:00~PM 8:00 (受付 5:45~)
●場 所 三ノ宮生田神社 南 徒歩4分 フジアビルディング 7階 BAR「NOEL (ノエル)」
●演 題 「2025年 終盤に向けて」 ●参加費 3000円
●講 師 林 和 也

※ 講座の問い合わせと申込み 090-8580-3776(林まで)

光透波

・ 實光透波研究会	名古屋市名東区香南1-103-8-201	堀 尾 君 子	090-8499-5989
・ 光 透 波 塾	名古屋市熱田区旗屋 2-16-4	磯 部 賢 一	090-9199-0248
・ 光の言波, 真理教室	東京都品川区小山 6-19-5	宿 谷 直 晃	090-2447-2037
・ 光透波言霊セミナー	兵庫県播磨町西野添 2-5-12	林 和 也	090-8580-3776

「日本語の言霊パワーと光透波エネルギー」 宿谷直晃著 ヒカルランドから発行

全国の有名書店で発売中。アマゾン等のネットでも購入可

。 定 価 3000円 + 消費税